



# 小金井 2012.10/1 No.414 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！起こせます！  
あなたの想いを！  
見つけよう！僕・私。  
仲間へのメッセージを、  
この場所で！！

地域センター施設研究講座も、いよいよ最終年。

今年のテーマは…

**募集**

**「公民館事業をつくろう」**

**本館**

(仮称)貫井北町地域センター実施設計の概要版がまとまりました。新公民館における事業計画づくりに注目が集まっています。

昨年の講座では、健康づくり、文化・芸術、環境、居場所づくり、情報の収集と発信などの分野で、講座参加者によるプレゼンテーションが行われました。

本年は、これらの提案をもとに、どのような公民館事業が可能か、どのような課題があるのかを検討する講座を企画しました。

(仮称)公民館貫井北町分館の利用を希望している方、公民館事業づくりに参加したい方、社会教育関係の委員活動を考えている方、参加をお待ちしています。

- **ところ**：公民館本館
- **時間**：午前10時から正午  
(ただし、最終日のみ午前9時から正午)
- **日程・内容**：右表のとおり
- **参加**：無料
- **定員**：60人 (申込順)
- **申込**：10月3日から、電話、FAX、または直接公民館本館まで。  
(〒184-0012 小金井市中町4-15-14  
☎042-383-1184/FAX042-387-1226)



□ 昨年の講座から：講師の佐藤哲信さんからオープンガーデンのお話を聞きました。



地域センター施設研究・講座のワークショップから。

日程	テーマ	講師
10月28日 (日)	公民館ってどういうところ？	伊東静一さん (元福生市公民館長)
11月7日 (水)	緑化・環境創出 ワークショップ	佐藤哲信さん (日本公開庭園機構代表)
11月21日 (水)	子どもと社会教育を 考える	多宇邦雄さん (早稲田実業学校初等部校長)
11月24日 (土)	フリースペースの 新しい利用	加藤富美子さん (東京学芸大学副学長・ 音楽教育学/民族音楽学)
11月27日 (火)	高齢者の学び～最前線	辻浩さん (日本社会事業大学教授) 小暮浩彦さん(木曜会世話人)
11月28日 (水)	地域のアーティストを 育てる	増田章夫さん (彫刻家・小金井市文化協会 事務局長)
12月8日 (土)	北町ホールで健康づくり	渡辺雅之さん(東京学芸大 学附属竹早中学校長：健康 ・生涯スポーツ)
12月12日 (水)	若者のコーナーの 新しい利用	小山田佳代さん (東京学芸大学子ども未来 研究所研究員)
12月22日 (土)	中高生・大学生リーダ ーによる居場所づくり ワークショップ	小山田佳代さん (東京学芸大学子ども未来 研究所研究員)
1月12日 (土)	「みたか」のネットワー ク事業に学ぶ	清水利昭さん (みたか市民協働ネットワー ク事務局長)
1月16日 (水)	「さいたま」のネットワ ーク事業に学ぶ	生越康治さん (さいたまNPOセンター事務 局長次長)
1月26日 (土)	市民協働学を学ぶ	安藤雄太さん (東京ボランティア市民活動 センターアドバイザー)
	ワークショップで まとめよう	全員

# 募集

## 市民講座 「あすは我が身の地域防災」東分館

昨年3月の東日本大震災は改めて防災への意識を喚起するきっかけとなりました。小金井市はいわゆる立川断層にも近く、はけと野川の関係など地形的にも心配なところがあります。地震への備えは大丈夫でしょうか？他人事ではなくあすは我が身です。いざというとき慌てないために、そして何より自分と大切な人を守るために、身近に迫りくる地域防災について考えます。

とき・内容・講師：右表のとおり(全5回)

ところ：公民館東分館

対象：市内在住・在勤・在学の方

定員：40人(申込順)

参加費：無料

申込：10月3日から住所、氏名、年齢、電話番号を電話・電子メールまたは直接公民館東分館へ。

☎ 042-384-4422

メールアドレス k020413@koganei-shi.jp



回	日程	内容	講師
1	10/24	東日本大震災に学ぶ ～被災地が教えてくれたもの	村上英己さん (全国公民館連合会 事務局次長)
2	10/31	【ワークショップ】 災害用トイレを作ってみよう	
3	11/7	活断層と地震予知 ～いま日本列島に 何が…?	宮下由香利さん (活断層・地震研究セ ンター主任研究員)
4	11/14	大丈夫？ 我が家の耐 震診断 ～転ばぬ先の杖と知恵	加藤 登さん (日本耐震診断協会 理事・構造設計一級 建築士)
5	11/21	どうなっているの？ 立川断層 ～いまどきの地域防災	山崎晴雄さん (首都大学東京教授)

※いずれも水曜日、午後2時～4時

## 第50回東京都公民館研究大会

公民館研究大会も、50回という節目の年を迎えました。今年は、久々、全体会が復活します。

これまでの、都公連の歩みを振り返る時、基調講演で問題提起されたことをめぐっての討論、批判、そしてそれを受けての活動づくり……と、基調講演の果たしてきた役割の大きさを再確認する方も多いと思います。

今年の基調講演のテーマは、

### 公民館は地域の絆

です。

講師には、石井山竜平さん(東北大学大学院教育学研究科准教授)をお迎えします。

これまで、被災地を精力的に回られ、活動をされてこられたお話をお聞きできるのではないのでしょうか。

課題別集会は、本年は、福生市、狛江市、西東京市の公民館運営審議会委員、職員、利用者を中心に企画していただきました。

近日中に開催要項が各公民館に届きますので、希望課題別集會を決めてお申し込みください。

### 福生市

#### 課題別集會名

#### 「公民館との出会いから地域の活力へ」

助言者 野澤 久人さん(前福生市長)

事例報告書 野村 亮さん(NPO法人自然環境アカデミー事務局長)

黒澤 吉信さん(熊川分水に親しむ会)

### 狛江市

#### 課題別集會名

#### 「公民館ははじめの一步」

助言者 片野 親義さん(大東文化大学非常勤講師)

事例報告者 蓑田 明子さん(東大和市上北台公民館職員)

企画運営委員

### 西東京市

#### 課題別集會名

#### 「3.11東日本大震災以後の公民館の役割 ～地域・きずな～」

助言者 谷口 郁子さん(月刊社会教育編集長)

事例報告者 須磨田 純子さん(西東京市芝久保公民館まつり副実行委員長)

石井山 竜平さん(東北大学大学院教育学研究科准教授)

**続・第22回企画実行委員の挨拶  
(任期 平成24年7月21日～26年7月20日)**



前列右から  
石原、栃木、平田  
後列右から  
中島、浅賀、嵯峨山

**◆東分館企画実行委員 浅賀 友保**

皆さんの関心のある講座を企画メンバーと協力し、楽しく運営できるよう活動しますので宜しくお願いします。個人的には絵画・工芸の鑑賞、戦前の昭和史に興味がありますので、この面でも企画のひとつとして反映できればと考えています。

**◆東分館企画実行委員 石原 節子**

公民館は敷居が高く、縁遠いところと思っておりましたが、市民講座「野川を歩く一源流から河口まで20km」に参加して、沢山の仲間とゴールする事ができ、公民館は敷居の高い場所ではないと実感しました。

1. 誰もが気軽に参加できる場。2. 企画を通していろいろな経験をし、共に学び仲間作りができる場。3. 利用する誰もが楽しい場所であると感じていただける場。

私が得た体験から、出会いを大切に、微力ながらお手伝いできたらいいなと思いました。よろしく願い致します。

**◆東分館企画実行委員 嵯峨山 康夫**

昨年「おやし塾」講座に初めて参加して見知らぬ同士が和気藹々の雰囲気、公民館事業がこれほど面白いとは正直驚きでした。このような感動を一人でも多くの方々と共有できるような企画が実現できるよう頑張ります。また公民館をより馴染みやすい場所にしたいです。

**◆東分館企画実行委員 栃木 セツ子**

東分館でいろいろなサークルに参加させていただいておりましたが、このたび企画実行委員になりましたので、さらに皆様と交流を深めていきたいと思っておりますので、よろしく願い致します。

**◆東分館企画実行委員 中島 康夫**

企画実行委員としての仕事にやりがいを感じ2期目も立候補する事に致しました。地元を意識した企画、公民館らしい企画、市民目線の企画を話し合いで作って行きたいと思っています。

**◆東分館企画実行委員 平田 ふみ子**

東分館企画実行委員 平田ふみ子さんは、8月末をもって一身上の都合により退任されました。



前列右から  
服部、定塚、金田  
後列右から  
山本、吉田、森実

**◆緑分館企画実行委員 金田 貞子**

初めは何もわからずお役に立てるか不安でしたが、緑センターに往復徒歩で農園にも東小金井から歩いて頑張りました。終わりの頃、体調をくずして術後、快復も早く普通の生活をと医師の指図で22期初の会議に出席、記念写真も撮っていただき日頃の元気印に戻って役目を続けようと思います。これからはゆっくりと行動をしていくよう努力します。

**◆緑分館企画実行委員 定塚 邦彦**

誰が企画した講座やイベントであっても、参加者の楽しかった、参加して良かった、意義が有った等の感想を聞いたり感じたりする度に、これに携わって良かったと感じます。緑分館での大きなイベント時でも参加各サークルが協力的なこともあり、順調に終了したときの充足感も味わえます。新しい期に携わるに当たって、より良い結果になるようにしたいと思っています。

**◆緑分館企画実行委員 服部 豊**

新任の服部です。古くなった機械類は油を注すことで動きが滑らかになりますが、御多分にもれず私も年齢と共に錆と油カスがたまって動きが鈍くなる様です。頭と体の動きの手入れをしながら皆様の助けを借りて頑張りたいと思います。

**◆緑分館企画実行委員 森実 邦明**

緑分館の「小金井市生活日本語教室」で外国人に日本語を教えるボランティアスタッフをはじめ、4年になります。企画実行委員はこの生活日本語教室のご縁ではじめました。この度、改めて同委員の委嘱をうけ、2年目に入りました。市民中心の公民館活動を心がけながら、市民の代表として、活動していきたいと思っております。

**◆緑分館企画実行委員 山本 大毅**

楽しみと期待を胸に第22回公民館企画実行委員をお引き受け致しました。

私は緑センターの管理補佐の仕事に4年間従事しており、市民の皆様の公民館活動に関し理解を深めて参りました。この体験を通し、公民館の発展のためには、世代間交流の面で一層の工夫が必要と考えています。この点の実現に微力ながら努力することが、私の委員としての抱負であります。

**◆緑分館企画実行委員 吉田 孝**

今回二期目を迎えます。様々なイベントを通じ、数多くの人々との出会いは我が身にとり、貴重な時間でもありました。私達委員は全ての参加者の「舞台くステージ」創りです。今年も“舞台装置”に気を配り、全参加者が十二分に楽しめ、活動出来る様今期も頑張ります！  
“いざ！学び合い、紡ぎ合い、灯し合うステージへ！”

## ◆ 10月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp  
ITサポートは、各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
☆にほんごで国際交流 韓国料理(チャプチュ) 作り 日時:10月13日 ☆市民映画会 10月18日 「特集～映画になった日 本の彫刻家」 市報10月1日号に詳細	☆国際交流事業 「住んでみてわかるミヤ ンマー」 市報10月1日号に詳細		☆市民講座 「あすは我が身の地域防災」 市報10月1日号に詳細 ☆成人学校 「オレ流オヤジ塾」 市報10月15日号に詳細	☆音楽鑑賞のつどい 「Afternoon Concert」 市報10月15日号に詳細

### こうみんかん旬菜

～見て・触れて・食べて～

東分館

今回は公民館での緑のカーテンの取り組みをご紹介します。今年度公民館では節電対策の一環として、一部の館で緑のカーテンを実施しました。ゴーヤやキュウリなどのつる植物を育てましたが、何れも大きく育ち立派な緑のカーテンができました。

緑のカーテンには、

1. 遮光効果がある為、太陽の光を和らげてくれます。
2. 植物の葉の蒸散効果により、周囲の温度を下げる効果があります。
3. 植物の観賞により、癒しの効果があります。

緑のカーテン作りは、学校でも取り組まれており、子どもたちが植物に親しみながら、緑のもたらす涼しさを体験することができることから、環境教育を実践する場としても注目されています。



公民館本館

節電しながら、心も癒してくれる緑のカーテン。みなさんも是非チャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

### 成人学校 ベリーダンスにふれてみよう 体験報告 緑分館

「ベリーダンスにふれてみよう」と市報に出て居た。「あの中東のヘソ出しルックの妖し気なセクシーの踊り?」とたじろいだ。「でも公民館企画のダンスだもの。ちょっと見てみたい」と申し込んで、運良く当選した。

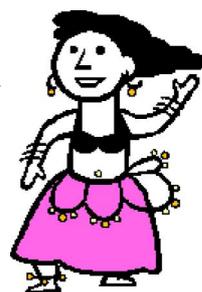
実践してみて驚いた。インナーマッスルがないと身体を動かせない。コアマッスルがないと腰を十分にはふれない。しなやかに、ムチ打つごとく体を動かすのは至難のワザ。

オリンピック選手の様な均整のとれた、無駄肉のない、引き締まった体型の若い先生の踊りをみられるだけでも、参加した価値はあると思う。波打つごとき体の滑らかな動きと激しい揺らし。柔軟性に富む強靱な筋肉の操作。「お腹とおしりの両面を板に挟まれている」気分で腰を動かすという難しさに加えてあまり馴染みのない音楽に合わせて足を踏まねばならない。

大勢の参加者たちは、上手に腰を振り、シャンシャンと快音を振り鳴らして踊っています。

私は、今まだ、引きつった顔で足を手を腰を動かそうとしているけれど、そのうち、ニコやかな笑顔で音楽に合わせて踊れるようになりたいと思っています。

(講座体験者)



### サークル紹介 東分館「松の会」

「小金井松の会」という俳句の勉強会です。

公民館東町分館主催の俳句講座に参加した有志が昨年1月に発足させました。毎月第3金曜日を例会日に句会形式で活動しています。

指導は講座でご指導いただいた松浦加古先生(小金井市在住)です。先生は結社「蘭」の主宰でお忙しい方ですが、小金井市民の活動という事でご理解をお願いしています。

「日本の宝ともいえる俳句に少しでも多くの人が触れて欲しい。そのために生涯奉仕する覚悟」と話される松浦先生には会員の投句一句ずつに丁寧なご指導頂いています。



現在会員は18名です。

初心者から結社同人まで様々ですが、力量の範囲で俳句作りを楽しみ、今年の東センターまつりには自慢の自作句を展示させていただきました。